

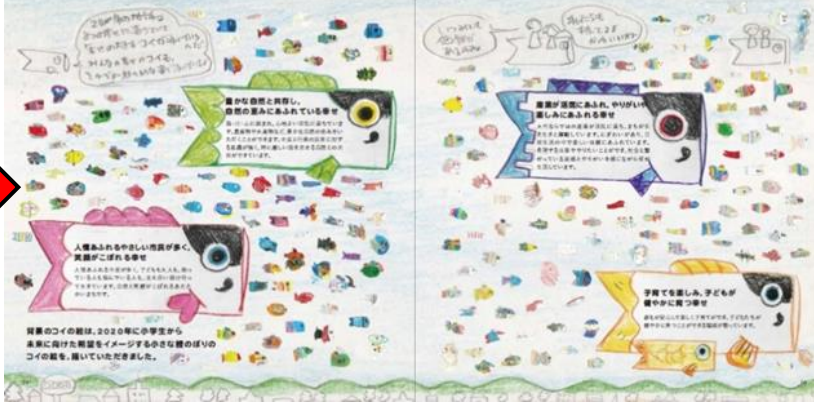


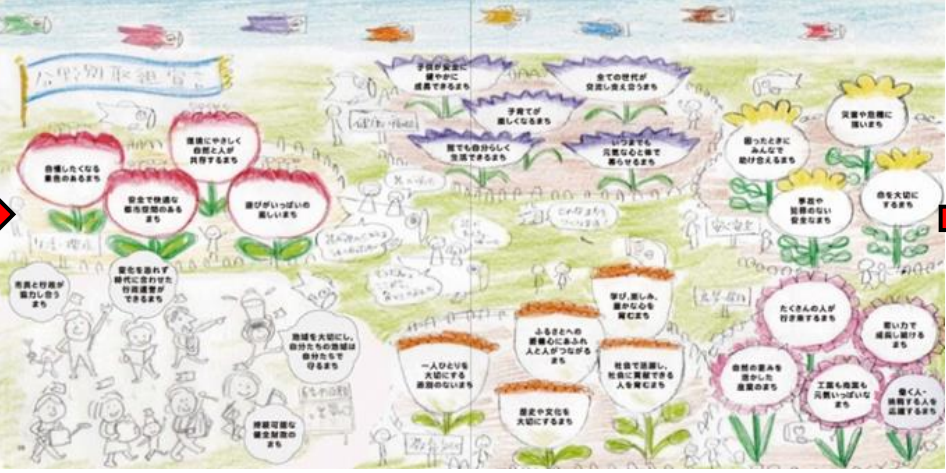

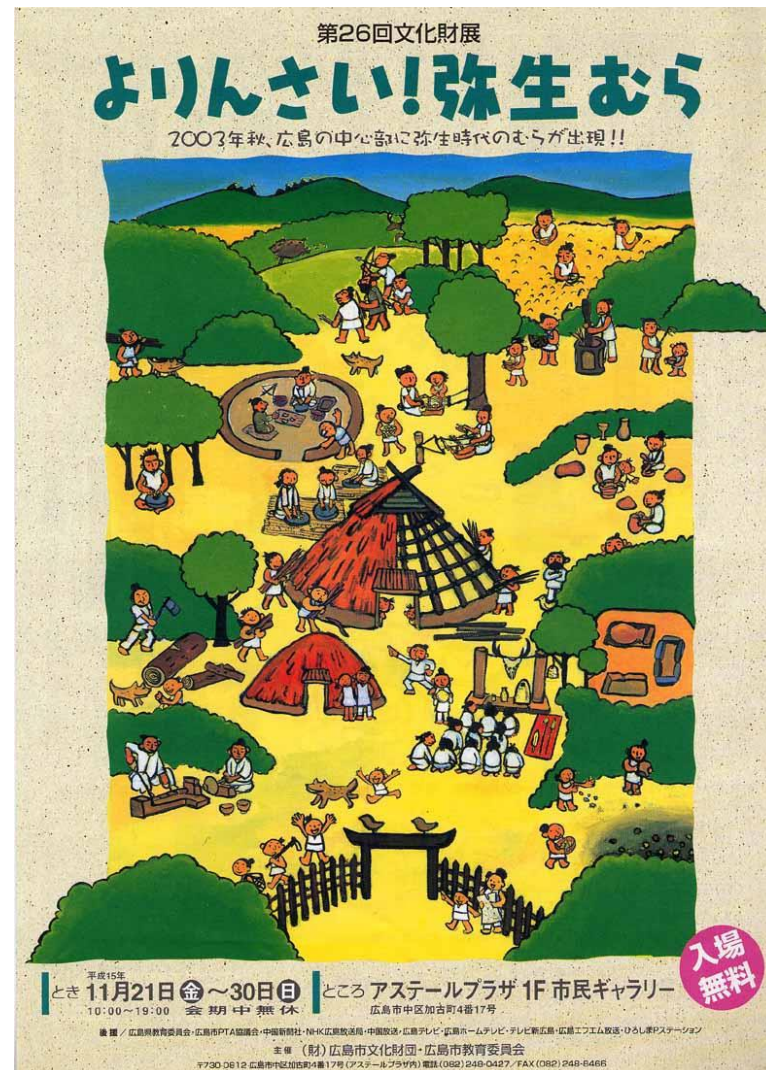
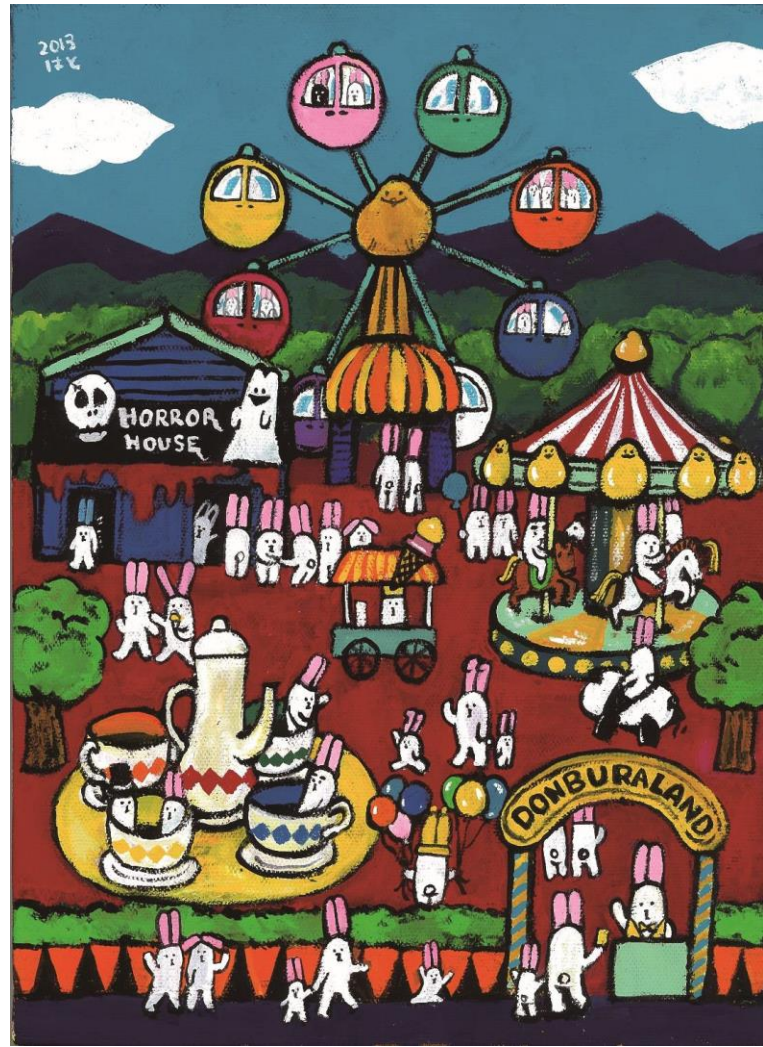


■大竹市まちづくり基本構想の各ページのストーリーと考え方

表紙	P1~2 未来のおおたけの様子	P3~6 未来にあふれる8つの幸せ	
			
<p>○未来の大竹に住む祖父母と孫が、空飛ぶコイ型ロボットで、まちを散歩するところから話が始まります。</p>	<p>○未来まちの様子をイラストで描きます。</p> <p>○未来のまちに住む市民には、一人ひとりに幸せの小さなコイがついており、市民みんなが幸せに暮らしていることを表現しています。</p>	<p>○未来のまちには、たくさんの幸せに満ちていることを、「幸せのコイ」で表現しています。</p> <p>○大きなコイは、未来のまちにあふれる「8つの幸せ」を表現しています。その周りには、小さな幸せのコイたちが泳いでおり、市民それぞれの多様な幸せがあふれていることを表現しています。(この小さな幸せのコイは、市内の小学生在が描いたマイ鯉のぼりのイラストです。)</p> <p>○「どうしてこんなに幸せいっぱいになったのか」を知るために、祖父母と孫は、現在(2021年)の大竹にタイムスリップします。</p>	

P7~8 幸せづくりの未来宣言	P9~10 こんなまちをつくりま(分野別取組宣言)	裏表紙
		
<p>○祖父母と孫が現在(2021年)の大竹に移動しました。</p> <p>○ここでは、現在の市民が未来に向けてまちづくりへの決意を示した「幸せづくりの未来宣言」を記した3つの鯉のぼりが掲げられています。</p> <p>○「幸せづくりの未来宣言」は、「大竹市民憲章」を土台としており、大竹のまちを築き上げてきた先人たちの想いを受け継ぎながら未来への想いを示したものとなっています。</p> <p>○鯉のぼりの周囲には、人々が花壇に分野別の取組の種まきをしており、幸せあふれる未来のまちづくりに向けて、行動を始めている様子を表現しています。</p>	<p>○「幸せづくりの未来宣言」をもとに、分野別に「こんなまちをつくらう」と取り組む市民の行動は、色とりどりの花を咲かせていきます。</p> <p>○そんな市民の取組を、8匹の「幸せのコイ」たちが見守っています。この8匹のコイがより大きく育った姿が、P3~6の「幸せの大きなコイ」です。市民の力でまちづくりの花が咲き、その結果、たくさんの幸せあふれるまちになっていったことを表しています。</p>	<p>○祖父母と孫が元の時代(未来)に帰ってきました。</p> <p>○市民一人ひとりが持つ幸せの小さなコイには、ハートがついています。これは、まちに対する「愛着心」が育ったことを表現しています。そして、そんな市民たちが、次のまちづくりへの種まきを行っており、まちへの愛着心を持った市民によって、もっと良いまちがつくられていくことを意味します。</p> <p>○現在の市民が努力する姿を見たことで、孫たち(次世代)の意識が変わり、先人たちへの感謝とともに、「これからは自分たちがこのまちを良くしていこう」という想いが芽生えます。そして祖父母は、孫たちに想いを託します。まちづくりが次世代へ継承されていくことを表現しています。</p>

【参考】大竹市まちづくり基本構想のイラストの雰囲気（デザイナー・はと（秦 景子）氏の作品）



【登場人物（祖父母と孫）案】

